

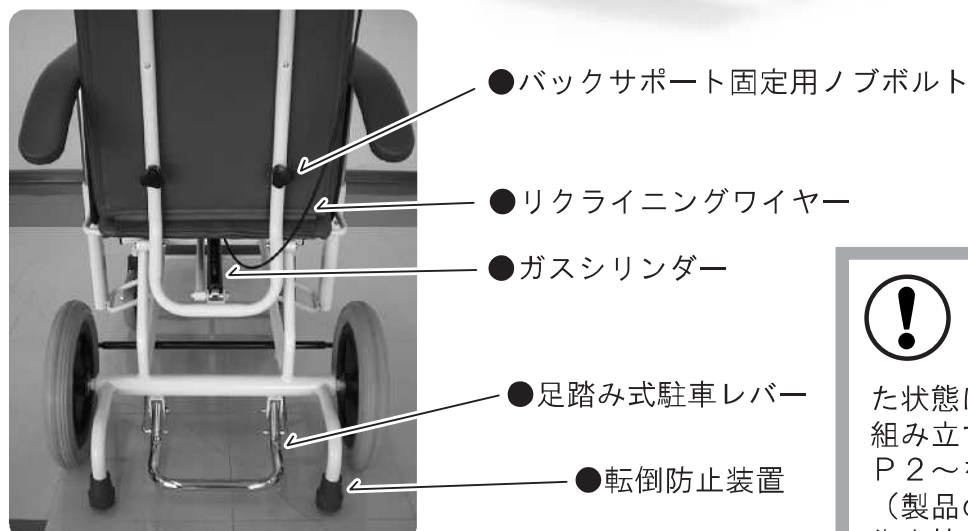
NHR-16

取扱説明書

この度は、製品をお買い上げ頂きまして、まことにありがとうございます。製品を安全、快適にご使用いただくための大切な内容が記載されております。ご使用前に必ずお読みください。

なお、保証書も掲載致しておりますので、大切に保管してください。

各部の名称



出荷時は運送上の都合により、バックサポートが本体から分離された状態になっています。製品の組み立て方につきましては、P2～をご覧ください。

（製品の組立は、専門知識と技術を持った販売店にご依頼ください。）

仕様・サイズ

- 全長：117cm ●フルリクライニング時全長：188cm ●全幅：57cm ●全高：121cm
- バックサポート高：75cm ●手押しハンドル高：103cm
- シート幅（アームサポートパッド内々）：43cm ●シート奥行：43cm
- アームサポート高：0・17・22cm（調整式） ●バックサポート角度：90～174°
- フット・レッグサポート：バックサポートリクライニングとの連動可動式
- 駆動輪：12インチノーパンクタイヤ装着 ●キャスタ：6インチ
- 重量：27.9kg ●耐荷重（積載物含む）：100kg

製品の組み立て方



製品の組み立てにつきましては、専門知識と技術を持った販売店にご依頼ください。

1

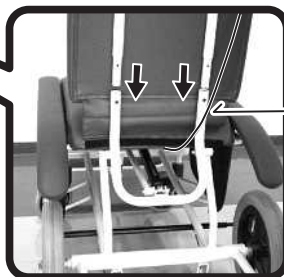


バックサポートを持ち上げ、バックサポートパイプをベース部のパイプに差し込みます。



注意

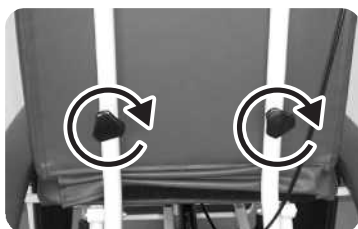
バックサポートの持ち上げは、リクライニングワイヤーがフレームやシートに引っかからないように注意しながらゆっくりと行ってください。



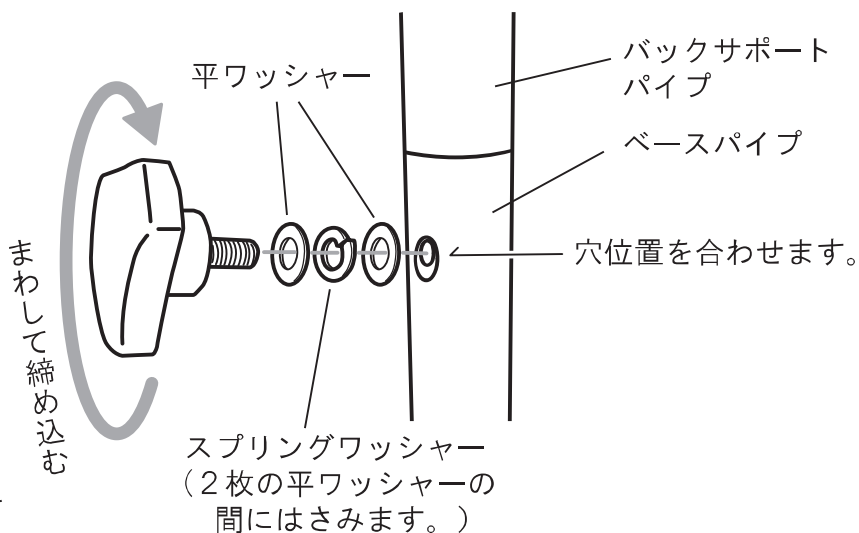
リクライニングワイヤーはベースフレームのコの字形パイプの間を通してください。

2

バックサポートパイプとベースパイプの穴位置を合わせ、付属のノブボルト、平ワッシャー、スプリングワッシャーでしっかりと固定してください。



左右とも、しっかりとノブボルトを締めて固定してください。



- 3** 車いすをリクライニングさせます。
(リクライニングの仕方はP 5をご覧ください。)



この状態までリクライニングさせてください。



4



バックサポートシート下部のベロと、座シート奥部の面ファスナーをきれいに、しっかりと貼り合わせて、バックサポートシートと座シートをつないで完成です。

面ファスナー

ベロ



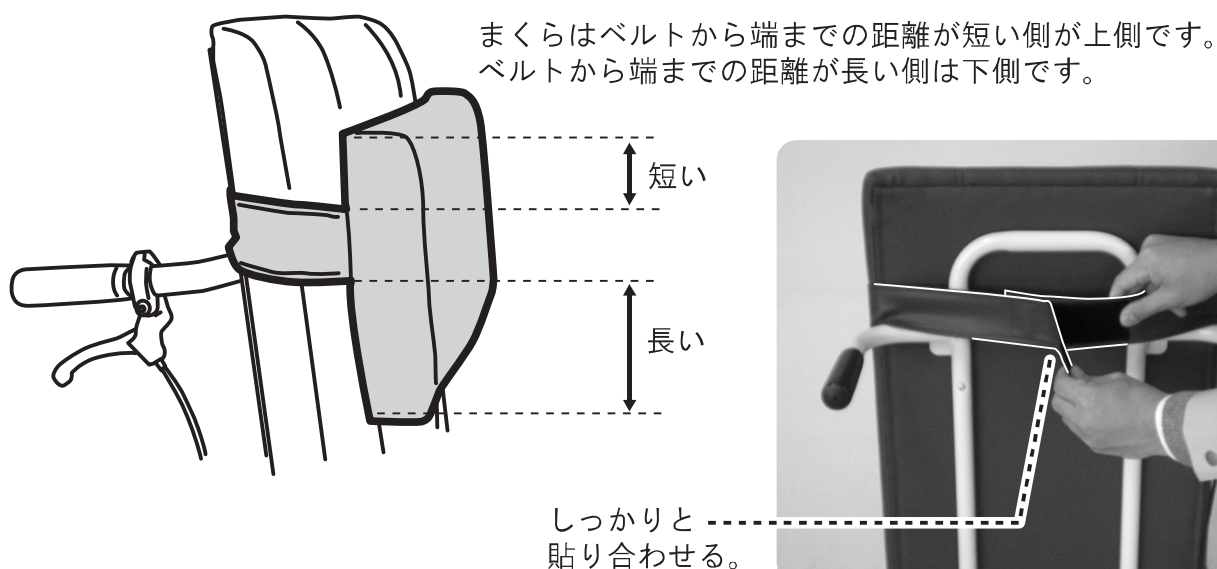
バックサポートと下部フレームの分割について

- 組立後のバックサポートと下部フレームを、やむを得ず分割する場合は、バックサポートを最も起こした状態にしてから、リクライニングワイヤーがフレームやシートに引っかからないように、十分に注意しながら、ゆっくりと分割してください。
- バックサポートと下部フレームを分割した状態では、リクライニングワイヤーがフレームやシートに引っかかったり、引っばられて伸びたりしないよう、バックサポートと下部フレームの位置や向きに十分にご注意ください。
- 分割の為に取りはずした部品を紛失しないように十分にご注意ください。
- やむを得ない場合を除き、日常的に分割や組み立てを行うことはしないでください。



バックサポートの取り外しは、バックサポートを最も起こした状態にしてから行ってください。

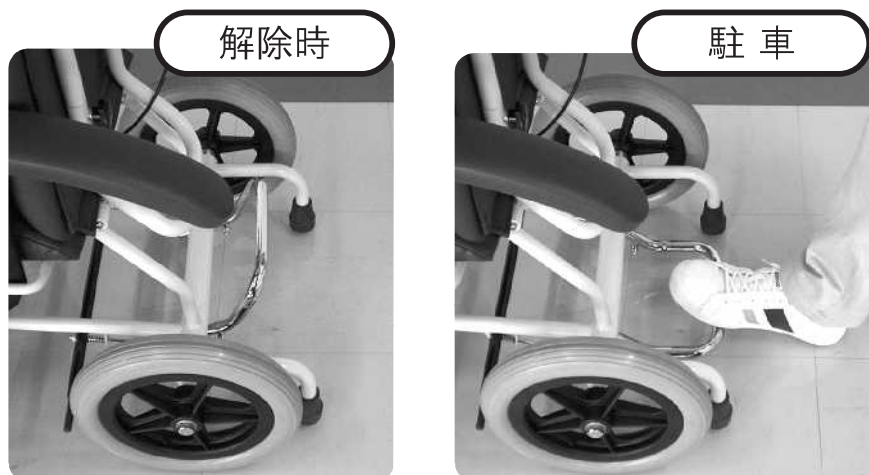
まぐらの取付けかた



任意の位置で、まぐらのベルトの面ファスナーをしっかりと貼り合わせて、取付けます。
ベルトのねじれ等がないように、注意してください。

駐車ブレーキのかけかた

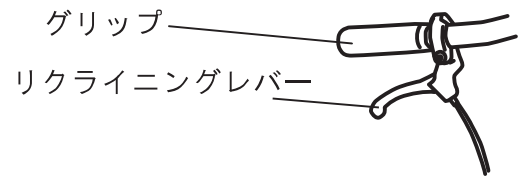
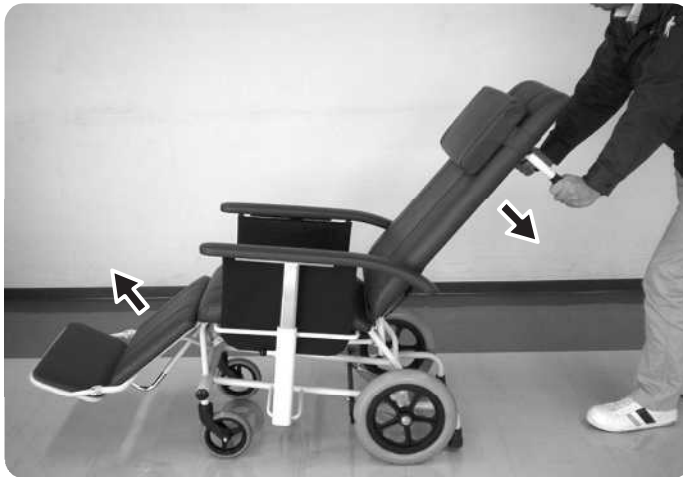
駐車ブレーキレバーを足で踏むと駐車ブレーキがかかります。
レバーを戻した状態が解除です。



警告

- ・ 駐車時には必ず駐車ブレーキを確実にかけてください。
- ・ しっかりブレーキをかけていても、本体に強い力が加わると、本体が簡単に動いたり、転倒したりしますので、十分注意してください。
- ・ 坂の途中では駐車しないでください。やむを得ず駐車する場合は2輪以上に車止めをしてください。
- ・ ブレーキレバーに体重をあずけるなど、レバーに強い力がかかる行為はしないでください。

バックサポート角度の調整のしかた



リクライニングレバーをグリップと一緒に握ると、バックサポート角度が調整できます。任意の位置でレバーを離せば、バックサポート角度が固定されます。

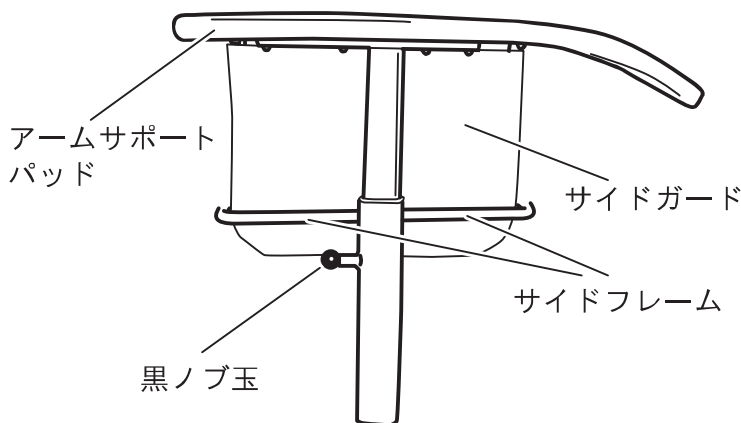
バックサポートを倒すことにより、フット・レッグサポートが挙上し、バックサポートを起こすと、フット・レッグサポートは下がります。



**注意
警告**

- ・バックサポート角度の調整は、駐車ブレーキをかけた状態で行ってください。
- ・バックサポートとフット・レッグサポートは連動して動きます。乗車者の上半身だけでなく、足の位置や状態も確認して操作をしてください。
- ・バックサポート角度の調整は、乗車者が車いすからずり落ちたり、乗車者の身体に負担がかかったりしないように、十分に注意をしながらゆっくりと行ってください。
- ・乗車者の身体の一部及び衣服等を製品の各部に挟まないように注意しながら、ゆっくりと操作してください。

アームサポートの上げ方・下げ方



下げ方

アームサポートパッドを持ち（アームサポートパッドの下側に指を入れないように）、黒ノブ玉を引き出して、アームサポートをゆっくりと下げます。

上げ方

アームサポートパッドを持ち、黒ノブ玉がパチンと入り込んで、アームサポートがロックされるまで引き上げてください。



**注意
警告**

- ・アームサポートパッドを持たずに黒ノブ玉を引くと、アームサポートが急降下して危険です。アームサポートを下げる際は、必ずアームサポートパッドを持ってください。
- ・アームサポートを上げた際は、黒ノブ玉が奥まで入り込み、アームサポートが落ちないようにロックされていることを確認してください。
- ・アームサポートに腰掛けたり、アームサポートを強い力で押さえたり、アームサポートを持って車いすを持ち上げる、等の行為はしないでください。
- ・アームサポートとサイドガードのすきまや、サイドフレームに、手指を入れたり、手指を置いたりしないでください。アームサポートが急降下した場合に、ケガをするおそれがあります。

使用前点検（必ず行ってください）

- 駐車ブレーキがしっかり効くかどうかご確認ください。
- リクライニングワイヤーの張り具合が適当かどうか点検し、正常に動作するかどうかご確認ください。
- ネジ・ボルトのゆるみがないか、フレームのガタつきがひどくないかご確認ください。
- バックサポートと下部フレームがノブボルトでしっかりと固定されているか、ノブボルトにゆるみがないか、ご確認ください。
- シート・ベルトに亀裂や破れがないかご確認ください。
- 主輪タイヤの溝がなくなりかけていないか、タイヤに亀裂がないか、ご確認ください。
- 車輪のガタ・緩み・曲がり等がないかご確認ください。
- 前輪キャスタ輪及びキャスタフォークに変形、ひび割れ等がないかご確認ください。
- 前輪キャスタが緩んでいないか、抜け落ちていないかご確認ください。
- 転倒防止装置の先ゴムには、本体パイプの床面接触を防ぐためにスチールのワッシャーが入っています。使用の状況により、先ゴムが擦れ、ワッシャーで床を傷つける場合がありますので、先ゴム底面が磨り減ったり、ゴムが硬化してきたら、速やかに、販売店に先ゴムの交換を依頼してください。
- ガスシリンダー部にオイルが垂れていないか確認してください。オイルが垂れている場合は使用を中止してください。
- 各部パーツの変形、破損がないかご確認ください。



警告

製品に異常がある場合は使用を中止し、すみやかに販売店に修理・部品交換・調整をご依頼ください。

メンテナンス・保管方法

- ボルトの緩み、フレームのガタ、タイヤの磨り減りなど目視や簡単に手で触って分かるようなチェックは、日常的に行ってください。
- 各部のメンテナンス（調節・補修・修理・部品交換等）はお買い上げの販売店にご依頼ください。
- シートが汚れた場合は中性洗剤を染み込ませた布で汚れを拭き取り、その後水で濡らした布で洗剤をきれいに拭き取ってください。汚れを取ったあとは、完全に乾燥させてからご使用ください。生乾きでの使用はカビや異臭の原因となります。
- 直射日光の当たる場所や高温多湿な場所での長期保管は避けて下さい。



ウレタン素材には 寿命 があります。

- クッション性に優れているウレタン素材は、使用頻度にかかわらず経年変化を起こし、割れ、ヒビ、崩れを起こし、破損するおそれがあります。
- 特に通気の悪い場所での長期間の保管は避けてください。
- 割れやヒビ、崩れ等の症状が発生した場合は使用を中止し、販売店に部品交換を依頼してください。

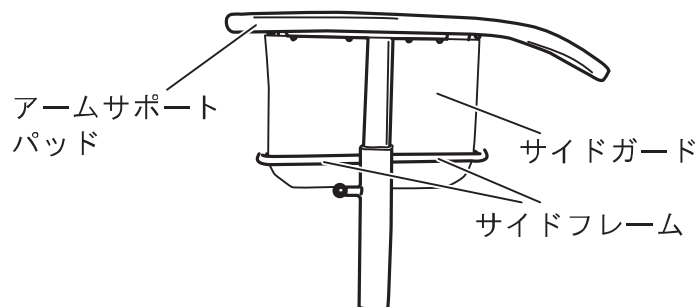


ノーパンクハイポリマー
タイヤ
など



注意・警告

- 各部のガタつきやネジのゆるみ、タイヤのすりへり、その他の不具合により、思わぬ事故につながる場合があります。定期的に取り扱い業者のチェックを受け、不具合がないか確かめてください。
- 使用者の体調が著しく低下しているときは、十分に注意して使用してください。
- からだに合わない状態での使用はしないでください。
- リクライニング動作は、必ず駐車ブレーキをかけた状態で行ってください。
- 各部の調整・調節を行うときは、必ず駐車ブレーキをかけた状態で行ってください。
- 走行時には地面に凹凸や障害物がないか十分に注意してください。走行中、各部に凹凸や障害物が引っかけると、転倒や製品の破損のおそれがあります。
- 倒れかかるような座り方や、身を乗り出すような座り方はしないでください。バランスをくずして転倒することがあります。
- リクライニングレバーを握りながらの走行はしないでください。
- 悪路や坂道では特に注意して操作してください。バランスをくずして転倒することがあります。
- エスカレーターの出入り口付近、エレベーター、自動ドア等の付近で使用する際は注意してください。
- 踏切りを横断の際は、車輪をレールに対して直角にして走行してください。斜めの角度で進入するとレールの溝にはまる危険があります。
- 手押しハンドルや各部フレームなどに手荷物等を掛けしないでください。荷物等が各部に当たり誤動作をしたり、バランスをくずして転倒する恐れがあります。
- バックサポートフレームは、本体下部フレームにしっかりと固定して使用してください。
- フットサポートの上に立たないでください。製品の破損だけでなく、転倒による事故のおそれがあります。
- 持ち運びの際は、下部メインフレーム以外を持たないでください。（アームサポートやバックサポート、手押しハンドル、シート等を持って運ぶと、製品の破損や事故につながる恐れがあります。）
- 坂道での駐車はしないでください。やむを得ず駐車する場合は2輪以上に車止めをしてください。
- 本書記載以外の使用はしないでください。
- 踏台や脚立・歩行器のかわりに使用しないでください。
- 子供に操作をさせないでください。
- 二人乗りなど多人数での使用はしないでください。
- フレームの折れ、曲がり、シート・ベルト類の破損など壊れた状態での使用はしないでください。（使用を中止し、すみやかに販売店へ修理、部品交換をご依頼ください。）
- 乗車者・介助者とも、車いす使用時には靴をはいてください。はだしで車いすを使用しないでください。思わぬケガのおそれがあります。
- 体重が製品の耐荷重を超える方の使用はしないでください。
- 周辺に小さなお子様がいるときは、指や手足を挟むなどして、ケガをするおそれがありますので十分にご注意ください。
- 製品をゆすったり、踏んだりなどの乱暴な取扱いをしたり、落したり、たたいたりなどの強い力や衝撃を与えないでください。製品が破損することがあります。
- 水にぬれた場合、そのままにしておくで製品に錆びやカビが出ることがあります。ぬれた場合は乾いた布ですみやかに拭きとってください。水中での使用はしないでください。
- 気温の差の激しい場所や異常に高温な場所（車中など）に製品を放置しないでください。フレームが痛むばかりでなく、熱くなったフレームで火傷をしたり、高温になったシートに座ることで体調に悪影響を与えることがあります。
- 改造や分解はしないでください。
- 当取扱説明書内に記載の寸法や重量の値には、製造の都合上、多少の誤差がありますのでご了承ください。
- 製品の改良・改善により、詳細において本書の内容と異なる場合があります。不明な事柄につきましては、販売店までお問合せください。
- アームサポートとサイドガードのすきまや、サイドフレームに、手指を入れたり、手指を置いたりしないでください。アームサポートが急降下した場合に、ケガをするおそれがあります。



保証規定

I. 保証の範囲

1. 保証期間中に品質の不完全に基づく故障を生じた場合には下記の保証書により無料で修理いたします。
2. 保証期間はご購入後1年間です。
3. 但し、次の場合は保証期間中でも有料になります。
 - (a) 取扱い過誤による故障。
 - (b) 製品に改造を加えた場合の故障。※純正品以外の部品を使用した場合も含まれます。
 - (c) 天災、地変等による故障ならびに損傷。
 - (d) 消耗部品、タイヤなど。
 - (e) 保証書にお買い上げ店名の記載、捺印のない場合。
 - (f) 保証書のご提示がない場合。
4. 以上の保証は本製品を日本国内に設置した場合に限ります。
5. この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

II. サービスのご用命

保証期間中、万一故障が生じた場合はご購入の販売店へ保証書を添えてお申し出ください。

III. ご注意

保証書は再発行しませんので大切に保管してください。

品質保証書

本商品については上面記載の「保証規定」により正常な使用状態において故障が生じた場合に限りご購入日より「1年間」無償にて修理致します。

機 種	N H R - 1 6		
お客さま	ご住所	〒	
	(フリガナ) ご氏名	TEL	
お買上げ日	日	保 証 有効年月日	年 月 日 まで
販 売 店	見 本		
製造元			
日進医療器株式会社 〒481-8681 愛知県北名古屋市沖村権現35-2 TEL <0568>21-0635(代) FAX <0568>23-2787			

日進医療器株式会社

本 社
東京営業所
大阪営業所
九州営業所
東陽事業部

〒481-8681 愛知県北名古屋市沖村権現35番地の2
TEL <0568>21-0635(代) FAX <0568>23-2787
〒112-0002 東京都文京区小石川 1-21-14
TEL <03>3814-0923(代) FAX <03>3814-4644
〒533-0013 大阪府大阪市東淀川区豊里 6-16-10
TEL <06>6323-8265(代) FAX <06>6326-2554
〒812-0876 福岡県福岡市博多区昭南町2丁目3-8つるまる堂ビル1F
TEL <092>513-5036(代) FAX <092>513-5038
〒452-0901 愛知県清須市阿原北野13番地
TEL <052>401-2741(代) FAX <052>401-2751